

令和3年度  
事業報告書

公益財団法人防府市文化振興財団

# 令和3年度 公益財団法人防府市文化振興財団事業報告書

## I 事業総括

防府市文化振興財団は、真に豊かさの実感できる地域社会の形成と進展に寄与することを目的として、「豊かな心の育みと文化の薫りにあふれるまちづくり」を推進する防府市における文化活動の一層の活性化を図り、市民のニーズに応える多様な事業を展開しています。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により十分な活動ができない中で、第4期指定管理の最初の年度を迎えましたが、指定管理を外れた山頭火ふるさと館を除く防府市公会堂、防府市地域交流センター、防府市青少年科学館、防府市視聴覚ライブラリー及び防府市立防府図書館の5施設の指定管理者として、これまでの実績を検証しながら安心安全を基本に、より利用しやすい施設運営に努めるとともに、それぞれの施設を拠点とした魅力あふれる多彩な事業を企画運営することにより、防府市の文化振興を図ってまいりました。

## II 事業概要

公益財団法人として定款の目的にかなった事業を展開するとともに、「輝き!ほうふプラン」に沿った文化・芸術活動の推進、並びに図書館運営事業による生涯学習を推進すると同時に、コロナ禍において所管する5施設のあり方を検討し、それぞれの特徴を活かしながら連携して適正な管理運営に取り組みました。

また、収益事業については、感染防止対策を取りながら公益目的事業の一層の充実を図るための財源確保や、利用者のサービス向上につながるよう、収入の確保に努めました。

### 1 文化の創造・発信及び文化活動の支援事業

#### (1) 音楽鑑賞事業（資料1頁～2頁参照）

本年度は、クラシック、ポップス等の各種事業6事業13公演を行い、合計で約3,855人の方にご参加いただきました。

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、事業の延期や中止をせざるを得ない状況もありましたが、国や県、市の指針の下に徹底した感染予防対策を施し、コロナ禍の中での事業展開を行いました。

##### ① クラシック

###### ア 主催事業

###### a 防府音楽祭

第21回目を迎えた防府音楽祭は、街の活性化を図るとともに、クラシック音楽をより多くの市民に親しんでいただけるよう1月7日（金）から10日（月・祝）までの4日間開催しました。

初日の「街角コンサート」はコロナ禍での開催のため、「英雲荘」、「ソラール」、「アスピラート」の市内3カ所での演奏を、昨年同様 YouTube で動画配信し、地元から遠方の方に至るまで多くの方に楽しんでもらえるようにしました。

2日目に開催した「プロムナードコンサート」は多数の応募の中から抽選で選ばれた290人ほどの方に、弦や管など各楽器の演奏と紹介を楽しんでいただきました。

また、「管・打楽器特別公開クリニック」では、防府市内外から集まった小学生から高校生まで約70人に、フルート、オーボエ、打楽器などのトップアーティストによる直接指導という貴重な体験をしてもらうことができました。

3日目の「わくわく夢の響演コンサート」は、当音楽祭に何度もご出演頂いた故すぎやまこういち氏のヒット曲の追悼演奏や「となりのトトロ」のオーケストラストーリーズなどを楽しんでいただきました。

最終日の「ファイナルコンサート」は、ベートーヴェンの人生を音楽でつづり、ヨーロッパ各地の名曲を演奏し、最後は故すぎやまこういち氏作曲「ドラゴンクエスト そして、伝説へ」で締めくくりました。

この音楽祭は市民参加型として定着しており、地元防府のアスピラート合唱団、防府音楽祭弦楽合奏団、防府市出身の田村昭博さん（ヴァイオリン）と吉田篤さん（ヴィオラ）も出演しました。

当音楽祭は、(独)日本芸術文化振興基金から高い評価を受け、引き続き今回も助成を受けています。

## イ 共催事業

### a 小林愛実ピアノ・リサイタル

防府市にゆかりのあるアーティストがショパン国際ピアノコンクール受賞後初の山口公演となるため、あっという間に防府市公会堂は満席となり、世界をうならせた実力で来場者を魅了しました。

### b 元気やまぐち創造プロジェクト

ヴィヴァルディ『四季』国内オーケストラトッププレイヤーによる音楽の祭典～コロナ禍で衰退する音楽文化を盛り立てようと、山口県内6カ所の文化施設が連携し著名な演奏家による公演を開催しました。コロナ禍で公演に参加する機会が激減する中、市内の子どもたちを招待するなどして、本物の音楽に触れあえる貴重な機会となりました。

② ポップス等

- a 上妻宏光 “Standard Songs” feat. 佐藤竹善 三味線と PIANO で奏でる名曲達  
津軽三味線演奏家の上妻宏光の力強い演奏とボーカリスト佐藤竹善の甘い歌声による和洋を融合させた音楽と、アスピラート音楽ホールの響きがうまく調和して、来場者だけでなく、演奏者本人も魅了していました。
- b 市民吹奏楽の夕べ2021 ブリヂストン吹奏楽団久留米コンサート（中止）  
開催の準備まですべて整えていましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、前売り券発売直前に開催中止が決定しました。

**(2) 音楽育成事業（資料2頁参照）**

年間を通して開催することにより、幅広い層の市民に歌うこと、楽器を演奏することの醍醐味を堪能していただくことを目的としていますが、本年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため十分な活動ができない状況になりました。

a こども合唱教室

新型コロナウイルス感染拡大の影響により活動を自粛した期間もありましたが、市民音楽祭や灯りの下のコンサートにも参加しました。

b 弦楽合奏教室

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、定期演奏会の実現には至りませんでした。できる限りの時間を使って練習に取り組みました。

c 吹奏楽教室

新型コロナウイルス感染拡大の影響により活動を自粛した期間もあり、練習不足ではありましたが、全日本吹奏楽コンクール中国大会に出場することができました。

d 合唱教室

新型コロナウイルス感染拡大の影響により活動を自粛した期間もありましたが、防府音楽祭に出演するため「凱進行進曲」をイタリア語で練習し本番に挑みました。

e チェンバロ講座 触ってみよう！

小学校1年生から大人までが未知の楽器チェンバロを体験し、その魅惑的な音色のとりこになりました。

**(3) 音楽普及事業（資料2頁～3頁参照）**

各種音楽セミナーを開催し、音楽に対する興味・関心を広げてもらうように普及事業を展開しました。

ア 主催事業

- a 音楽セミナー／田中雅弘の音楽旅日記19

防府市出身のチェリスト田中雅弘氏を講師に迎えての19回目の音楽セミナーは新型コロナウイルス感染拡大防止対策で2回に分けて行い、「輝く防府の未来」と題したお話と、バロックから日本の現代曲までの6曲を演奏しました。

- b 音楽セミナー/ヴァイオリンを語る～華麗な花形楽器 500年の歴史と魅力  
新型コロナウイルス感染拡大防止対策で延期しての開催となりましたが、来場者はヴァイオリンの歴史を辿りながら、全10曲を演奏しました。分かりやすい解説とともに、様々なヴァイオリン曲を聞いて貰い、楽器への理解を深めました。

#### (4) 美術鑑賞事業 (資料3頁～4頁参照)

本年度は、企画展を4回開催し、36,202人の方にご参加いただきました。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から一部中止せざるを得ない事業もありました。

##### ア 主催事業

- a 美術鑑賞バス①、② (中止)

毎年夏と秋に地元の旅行会社と共同で企画実施していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止としました。

- b ふわふわシナモロール展

サンリオキャラクター大賞1位人気キャラクター「シナモロール」の体験型展覧会を、九州山口初開催として企画実施しました。当初2020年春の開催の予定を延期しての開催となりました。

コロナ禍での2万人を超える来場者は、本年度春季の山口県内の展覧会入場者数第1位を記録しました。

- c 西本喜美子展 Life&Work

～驚異の93歳！インスタおばあちゃんが撮る！

「インスタおばあちゃん」として大人気の西本喜美子氏の写真展を山口県で初開催し、夏休みの親子連れからシニアまで幅広い層の約1万人が訪れました。

期間中TOKYO2020応援プログラムとして、防府市出身のイラストレーターりおた氏のイベントを開催しアートの面からオリンピックを盛り上げました。

- d 美人画レボリューション

日本一の美人画コレクター「培広庵」所蔵で山口県初公開の、明治～昭和初期の美人画黄金時代に活躍した、竹久夢二、上村松園、鏑木清方などの珠玉の作品約100点を展示し、約4,700人の市民が訪れました。

- e アスピラートでクリスマス／幸せますカメラ女子部写真展

防府中心市街地の近隣商業施設と連携し、毎年恒例となっているプロジェクションマッピングは、今回は体験型のアニメーション作品を導入し、多くの子供たちが先端芸術を体験しました。

また、地元防府商工高校生の授業の一環として取り組んでいる「カメラ女子部」の写真展も開催しました。

イ 共催事業

a ふるさとの匠たち14回 「腕前探訪」(中止)

毎年y a b 山口朝日放送・朝日新聞社と共同で開催していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止しました。

**(5) 美術育成事業(資料4頁～5頁参照)**

例年市民から大変要望の多い、幼児から楽しめる造形ワークショップ等、子どもたちを対象とした美術育成事業を開催しました。

ア 主催事業

a ゆめあーとひろば

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から一定の期間は中止としましたが、全6回のうち2回開催し、約80人の親子がワークショップを楽しみました。

イ 共催事業

a 瀬戸内デザイングランプリ2021入賞作品展

県内の小中高生を対象としたデザインポスターのプロジェクトの入賞作品展で、6回目となる今回は「家」をテーマにした作品を募集し1,152点もの応募がありました。

**(6) 発表・支援事業(資料5頁～6頁参照)**

ア 主催事業

a フェスタアスピラート2022(音楽事業)

昨年は無観客で動画配信のみ行いましたが、今回は新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底し、観客を入れて開催し約500の方が集まりました。出演者もお客さんの前で発表出来る喜びを改めて感じる事ができ、また多くの来場された方は生演奏や舞踊などを楽しみました。

b フェスタアスピラート2022(美術部門)

写真コンテストのテーマ「小さな幸せ」に153点の応募があり、会期中の来場者投票と写真家等による審査により各賞が決定し、市民の作品の発表を楽しみました。

イ 共催事業

a 防府アスピラート児童合唱団”Fanfare”演奏会

コロナ禍の影響で限られた練習時間の中での第1回目の演奏会はミニコンサートとなりましたが、来場者からは高い評価を受け次につなげることができました。

b 能章まつり

防府市出身の作曲家大村能章を顕彰する歌謡祭。幅広い選曲がなされており広い世代のお客様に楽しんでいただくことができました。

c 防府吹奏楽団ウインターコンサート

コロナ禍で練習不足の中、急遽決定してのウインターコンサートでしたが、団員の結束を確認するコンサートになりました。

d 防府弦楽合奏団定期演奏会（中止）

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止しました。

**（7）その他の文化鑑賞事業（資料6頁参照）**

ア 主催事業

a 会員招待事業

橋下徹講演会を行いました。エネルギーで迫力のある講演会に、来場された方は皆圧倒されていました。

b 劇団四季新作オリジナルファミリーミュージカル

「はじまりの樹の神話～こそあどの森の物語～」

原作「こそあどの森の物語」シリーズで、子どもにも大変わかりやすい内容のため、多くの親子連れで賑わいました。子どもたちは迫力ある歌声やダンスに魅了されていました。

c コミカル・クラウン・サーカス（中止）

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止しました。

**（8）文化施設の管理運営（資料7頁～8頁参照）**

施設の設置目的に沿ってそれぞれの特徴を活かしながら、市民が利用しやすい施設となるよう、各施設が連携をとりながら利用促進を図りました。

ア 防府市公会堂

市民の福祉を増進し、生活文化の向上に資するとともに広く集会の場として使用に供するために設置された公会堂は、その目的にかなう管理運営に努めました。

a 施設整備

老朽化した舞台用の「照明設備」の修理及び舞台袖作業灯の増設を行い安全性の確保に努めました。

また、公会堂東西軒下のコンクリート段差部分に境界ラインを塗装することやピロティー軒下の雨水樹の段差を解消するために金属製板を設置するなど屋外での安全性の確保にも努めました。

b 利用状況

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染防止対策を取りながらの運営とな

りました。特に6月と9月には新規貸館中止の対策を実施しましたが、その前後での利用率が上がりトータルでは前年度を上回りました。しかし、稼働日数や利用人数の制限などの影響により、利用者数は施設改修前の約60%にとどまりました。

今後は生まれ変わった「防府市公会堂」をPRし、感染防止対策を取りながら施設全体の幅広い活用につなげるよう一層努力してまいります。

なお、本年度の利用率は34%、利用人数は31,920人でした。

#### イ 防府市地域交流センター

誰もが利用しやすい施設となるように、以下のとおり管理運営を行いました。

##### a 施設整備

開館から23年が経過したこともあり、館内の各種設備に経年劣化による不具合が多数発生しています。これについて、まずは安全対策を第一に、展示ホールの煙感知器の更新、音楽ホールのスプリンクラーアラーム弁の更新など、消防用設備の修繕を優先して行いました。

その他経年劣化が生じている部分については、その都度、防府市とも協議しつつ修繕を行ってきておりますが、経費の面からも今後も厳しい状況が続くものと想定されます。

また、施設の裏側を公開することを通じて一般の方に会館を親しんでもらう目的で毎年恒例で開催しているバックステージツアーは、企画、運営、実施を地元高校生と協力して行い、参加者に大変な好評を得ました。

なお、令和3年度から、1階市民スペースで市民ギャラリーの工事に取り掛かっています。オープンは令和4年5月を予定しています。

##### b 利用状況

昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響による利用制限や利用者自らの利用自粛の影響で、利用率は前年度の43%から若干回復したものの59%にとどまり、利用人数は前年度の20,905人から58,429人となりました。

各施設の利用率の内訳としては、音楽ホールが74%（前年度52%）、リハーサル室が42%（同34%）、展示ホールが64%（同39%）、練習室が63%（同54%）となっています。

## 2 科学及び科学技術に関する知識の普及・啓発を図る科学館運営事業

第四期指定管理期間の初年となった令和3年度は、昨年度に引き続き安心・安全に配慮しながら、コロナ禍でも多くの方々に科学の楽しさや面白さが伝わるようなコンテンツを提供できるよう、多様な科学事業を進めて参りました。また、コロナの状況に応じて、体

験型や観覧型の展示のバランスを取りながら、3密を避けるなどの新型コロナ対策を講じ、科学の学びの場を止めないよう努めました。

## (1) 教育普及事業（資料9頁～11頁参照）

### ① 日常事業

当館の展示は、光と色の性質や身近な科学現象の原理などを紹介する2F常設展示室をはじめ、地域の自然コーナーや、宇宙と太陽の謎や生命の進化の歴史に触れることのできる回廊展示室などで構成されています。

「サイエンスショー」、「たのしい工作」、「ソラールの科学教室」の週末に実施する日常事業につきましては、新型コロナウイルスの状況に応じて、休止や内容の変更等を行い、少しでも多くの来館者へ科学を学ぶ機会を提供しました。なお、3密を避けることが困難な「太陽望遠鏡のガイドツアー」は中止とし、代わりに来館者が日々の太陽の状況を観察できるように、太陽望遠鏡のライブ映像等を館内に展示しました。

#### ア たのしい工作

本年度も昨年度に引き続き、新型コロナウイルス対策として通常行っている対面指導を中止し、コロナ禍でも継続的に来館者に工作を提供できるよう、持ち帰り専用の「工作キット」を準備し、土・日・祝日、夏休み、冬休み、春休みに来館者（希望者）に配布しました。また、対面指導の代わりに、作り方の手順書を制作して工作キットと共に配布するなど、来館者が自宅でも簡単に工作ができるよう工夫し、サービス向上に努めました。

毎月工作内容を変更し、計12種類の工作を実施し、4,843人の来館者に配布しました。また、10月～1月の企画展「万華鏡展」会期中は、万華鏡をテーマにした工作内容にし、企画展の展示内容やテーマとの関連性を持たせる工夫をしました。

#### イ サイエンスショー

春休み期間と土・日・祝日に、一般の来館者向けに1日2回実施しました。

特に、社会見学の学校団体などに対して、換気や距離の確保などの対策を講じながらショーを実施しました。コロナ禍で行動が制限される状況の中、児童・生徒に少しでも楽しみながら科学への興味を深めてもらえるよう取り組みました。

#### ウ ソラールの科学教室

府の自然や星空の観察、ものづくり等を通して科学の奥深さを迫及する内容の科学教室を実施しました。太陽教室「日時計を作ろう」、地学実験教室「石灰石の風鈴を作ろう」、化学実験教室「クリスマスキャンドルを作ろう」など、合計22講座を開催し、計423人の受講がありました。

本年度は、新型コロナウイルス感染防止対策のため、臨時休館期間中と山口県へのまん延防止等重点措置の発令期間中の6教室を中止しました。また、昨年度に引き続き、参加者同士が対面にならない機の配置や、定員を少人数にするなどの新型コロナ対策を講じて実施しました。

#### エ クイズラリー

社会見学等の学校団体と幼児団体向けに、対象年齢の違いに応じた内容のクイズラリーを実施しました。

新型コロナウイルス感染防止対策、及び展示の汚損・破損を防ぐため、鉛筆やバインダーは使用しないように工夫しました。さらに、社会見学の団体向けには、体験後に解説を含む解答用紙を配布し、より参加者が深く科学を学べるよう努めました。

### ② 特別事業

子どもから大人までの幅広い年齢層に対して、わかりやすい展示方法や体験を通して、科学への興味・関心を高めることができる事業を実施して参りました。また、企画展・特別展に加えて、常設期間中にスポット展も開催し、来館者に様々な分野の科学の学びの場を提供しました。

#### ア 特別展「国際周期表年特別展」

2019年に国際周期表年実行委員会がメンデレーエフ周期律発見150周年を記念して制作した巡回展示を利用し、周期表や元素を実物と体験で楽しく学習できる特別展として開催しました。また、巡回展示物と併せて、別途借用した元素の実物資料の追加展示も行いました。さらに、令和3年度(4/1)からは、当館オリジナルの周期表とクイズラリーを作成して来館者へ配布し、小学生からでも、より充実した観覧体験となるよう努めました。

当初、3月7日までの開催予定でしたが、令和3年度春の企画展が、新型コロナウイルスの影響によるテーマ変更となったことを受け、春の企画展と内容が関連する本展の会期を5月12日まで延長しました。

4月1日から5月12日までの会期で、4,109人の来館がありました。

#### イ 企画展「おもしろミネラル探検隊」

鉱物が地球や宇宙でつくられた天然の恵みであり、古くから装飾や美術品、資源として、人間と深い関わり合いをもってきていることや、レアメタル、レアアースといった今以上に必要になってくる元素を含んだ鉱物について紹介しました。鉱物が私たちの生活の中で欠かせない重要で限りある資源であることを再認識していただくとともに、本展をとおして地学や化学分野、また、それらを原材料としている工業技術分野にも興味と関心をもっていただくことを目的に開催しました。

今回の展示では、山口大学理学部地球科学標本室からの借用資料と当館のギベオン鉄隕石などの収蔵資料を組み合わせ実施しました。

5月13日からのコロナ対策による臨時休館に伴い、当初5月16日までを予定していた会期を4日間短縮して開催しました。

4月1日から5月12日までの会期で、4,109人の来館がありました。

#### ウ スポット展「あつまれ！本の虫」

普段読んでいる絵本の中や、だれもが知っている小説の中などに登場するたくさんの虫たちを、科学と想像の双方の視点から見つめなおし、紹介するスポット展を防府市立防府図書館等との共催で開催しました。

科学館と図書館のそれぞれの特性を生かし、想像力や探求心、知的好奇心を楽しく育む一助となる展示として企画しました。また科学館と図書館の共催とすることで、普段とは違った客層の取り込みや両館の利用促進を目指し、一定の成果を得ることが出来ました。

昆虫の標本や生体などの実物資料と、その虫が登場する本を併せて展示し、科学館の学芸員と図書館の司書がそれぞれの視点で制作した解説パネルを組み合わせコーナーを構成しました。また、図書館司書と科学館学芸員のコラボ講座として、昆虫について姿かたちや名前などから想像的に楽しむ関連講座も実施しました。

8月28日からのコロナ対策による臨時休館に伴い、当初8月29日までを予定していた会期を2日間短縮して開催しました。

6月2日から8月27日までの会期で、7,333人の来館がありました。

#### エ 夏休み特別企画「サイエンスアカデミー2021」

主に幼児や小・中学生の科学的な好奇心を刺激し、科学やものづくりのおもしろさを知っていただくきっかけづくりと、夏休みの自由研究の一助になることを目的に、「サイエンスアカデミー2021」を開催しました。平成25年度から開催している本事業も、令和3年度で8回目（令和2年度はコロナ対策のため中止）を迎えました。

本年度は、コロナ禍での開催となったため、コロナ対策として、①山口県民限定に変更、②開催コース数や参加定員の縮小、③講師をサイエンスFUNクラブ・ソラール科学教育指導員・当館職員のみ限定など、大幅に内容を変更し、Aコース（4歳～小学2年生の親子対象）を6講座、Bコース（小学3年生～中学3年生対象）を18講座実施しました。

7月31日から8月20日までの会期で、3,884人の来館がありました。

#### オ 防府市小中学校科学作品展

防府市小・中学校教育研究会理科研修部との共催事業として、市内の小・中学生の夏休みの自由研究・工作から、校内選考で選ばれた優秀作品を毎年（令和2年度はコロナ対策のため中止）展示しています。

本年度は、小学校の部301点、中学校の部159点の作品を展示しました。

9月29日から10月3日までの会期で、2,348人の来館がありました。

#### カ 企画展「万華鏡展～鏡の世界であそぼ！～」

「万華鏡」を通して、当館のテーマの1つである「光」と鏡の科学を、幅広い年齢層が楽しみながら体験し、学んでいただくことを目的に開催しました。

また、本展は、今までほとんど企画展の開催がなかった冬休み期間まで開催しました。

万華鏡の基本原則である「鏡」の科学体験をメインに、万華鏡の種類やしぐみを楽しむ展示や、万華鏡作家作品や大型万華鏡などの様々な種類の万華鏡がつくる模様の面白さや美しさを体験できる展示をご覧いただきました。

会期中に万華鏡工作キット（数量限定）を販売し、館内にセルフ工作コーナーを設けて、館内でも工作ができる場を提供しました。

10月30日から1月16日までの会期で、12,601人の来館がありました。

#### キ スポット展「走る！鉄道模型展」

冬休み期間中、当館の常設展示の中でも特に人気のある「鉄道模型」の規模を拡大し、昭和初期から平成の半ばにかけて活躍していた列車の模型（1/80サイズ）を複数同時に走らせるイベントを開催しました。様々な車両の歴史や走行する仕組みの解説も行い、科学館ならではの展示になるよう努めました。

12月24日から1月10日までの会期で、2,584人の来館がありました。

#### ク スポット展「ふゆめ展」

昨年度に続き、普段目につくことの少ない冬の自然について紹介するスポット展を開催しました。本展では植物の冬越しの姿「ふゆめ（冬芽）」に注目し、冬越しの工夫やその不思議なすがたたちの秘密にせまりました。庭や公園にも生えている樹木を中心に上げ、身近な自然に触れ合うきっかけづくりを目的としました。実際に防府市内で見られる様々な冬芽の実物や写真を展示し、パネルでわかりやすく解説しました。

また、その冬芽に因んだ実物資料も展示し、違う視点での見方も紹介しました。サイエンスパーク内の冬芽を紹介する「ふゆめマップ」を作成し、来館者に配布しました。

また、会期中の土・日に、屋外で実際に冬芽を観察するガイドツアーも実施しました。

1月29日から3月6日までの会期で、919人の来館がありました。

## (2) 情報収集保管事業 (資料 1 1 頁参照)

当館の太陽望遠鏡による太陽観測映像を、デジタルデータとして保管に努めました。

## (3) 啓発調査研究事業

科学教室や工作などの教材開発に取り組みました。

## (4) 学校連携事業及び外部連携事業 (資料 1 1 頁～ 1 5 頁参照)

### ① 学校連携事業

本年度の社会見学の団体受入れについては、昨年度に引き続き、学校団体別に館内での体験スケジュールを作成・提案して調整し、団体同士や一般の来館者との接触を避けるなどのコロナ対策を行いつつも、充実した館内での科学の学びができるよう努めました。また、予め希望のあった学校団体向けのサイエンスショーやクイズラリーも実施し、要望にお応えしました。

市内外の小中学校への出前講座として、理科の出前授業やクラブ活動、PTA 活動、放課後子ども教室などに対応し、青少年への科学の普及活動を積極的に行うとともに、市内の幼稚園・保育園からの出前講座要請にもお応えしました。

館内実習としては、博物館実習生を 2 人受け入れ、人材育成支援も行いました。

また、大学のボランティア実習を 1 人、大学や高等専門学校のインターンシップを 2 人受け入れました。さらに、教職員の研修 (中堅教諭等資質向上研修) として、市内外の小中学校から、11 人の教職員を受け入れました。

### ② 外部連携事業

防府市教育委員会や公民館、山口大学、山口市男女共同参画会議と連携して、家庭教育学級や一般向け講座など、それぞれが主催する活動の講師として、職員を派遣しました。

毎年恒例となった、地元コミュニティ FM との連携事業「紅葉どんぐり便」や、外部機関との連携事業である「発明科学教室」も昨年度に引き続き実施しました。

また、例年、自然観察教室として開催してきた、佐波川の生き物や水質を調査する、国土交通省河川管理課との連携事業を特別講座と位置付けて実施し、地域の組織や団体とさらなる連携事業を検討・調整しています。さらに、防府市と連携して、環境教育特別講座や防府市教育“夢”プロジェクト「ほうふみらい塾」にも協力しました。

## (5) 科学教育普及指導員派遣事業

本年度は、新型コロナウイルスの影響もあって特に要望が多かった、市内の小中学校のクラブ活動や放課後子ども教室などへの出前講座の依頼に対応するため、必要な知識や技術をもった当館の科学教育指導員 (元専門職員) を派遣し、講座を実施しました。13 回実施し、のべ 322 人の児童・生徒へ、実験・工作等の指導を

通して、科学の不思議さや楽しさを伝えることができました。

## (6) 防府市青少年少女発明クラブ

青少年の科学技術に対する夢と創造力を育み、創造性豊かな人間形成を図ることを目的に、当館を活動の場として開設された発明クラブの活動も20年目になりました。ボランティアグループ「サイエンスFUNクラブ」の皆様の多大なお力をいただき、充実した活動を行っています。

本年度は、新型コロナウイルスの影響による臨時休館等の理由から、例年の活動スケジュールを変更し、6月から活動を開始しました。例年の活動内容と遜色無く、且つ、密集を避けて1講座1会場にするためにスケジュールの組み替えと内容の見直しを実施するなどの工夫をして活動しました。

## (7) 科学施設の管理運営（資料16頁～17頁参照）

### ① 防府市青少年科学館

市民の科学及び科学技術に関する知識の普及及び啓発を図るとともに、創造性豊かな青少年を育成することを目的として設置された当施設は、その設置目的にかなうよう管理運営に努めました。

#### ア 施設整備・運営

本年度も、新型コロナウイルスの感染は依然として猛威を振るい、5月13日から5月30日まで、また8月28日から9月26日まで臨時休館しました。

ご来館の皆様が安心して施設を利用できるよう、消毒清掃や換気、感染リスクの高い展示物の使用中止、休憩スペースのテーブル撤去、人数制限など、安全な運営のための対策を適切に実施しました。また、館内各所にアルコール消毒液を設置するとともに、来館者への検温や連絡先の記入依頼など感染防止に取り組みました。

施設の維持管理については、清掃や設備管理業務などにおいて、受託者と意見交換や情報共有を行いながら、お客様の安全と安心を第一に適切な管理・運営に努めました。自動扉や空調設備などで経年劣化に伴う機器の不具合が発生し、その都度修繕を行いましたが、交換部品が手に入らず機器の更新が必要な設備もあります。開館から24年が経過し様々な設備の劣化が進んでいますので、防府市と情報を共有し、長寿命化に向けた対策の検討を次年度も継続していきます。

平成27年度から開始した社会見学の引率教職員に対する観覧料免除は、本年度も引き続き実施しました。

常設展示物については、平成10年の開館当初から展示されている展示物のうち、「惑星間ワープゲーム」は時代にそぐわない内容となっていましたので、システムのみ撤去し、現行の「ジャングル探検ゲーム」のシステムを移設しました。

また、新たに「プラズマボール」を展示しました。

#### イ 利用状況（資料 16 頁～17 頁参照）

令和 3 年度の入館者数は、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受け、29,752 人でした。

また、館外普及活動として、市内の小中学校や公民館の家庭教育学級などへの派遣講座を行い、1,204 人の参加がありました。入館者及び館外参加者人数は総合計で 30,956 人です。

### 3 学校教育及び社会教育における視聴覚教育の振興に関する事業

学校教育及び社会教育における視聴覚教育の振興と学習支援を行うことを目的に、視聴覚教育事業を実施しました。

#### （1）視聴覚機材や教材の計画的な充足（資料 18 頁参照）

例年 8 月に開催している防府市視聴覚ライブラリー運営委員会については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を考慮して、令和 3 年 12 月 22 日に開催しました。

令和 2 年度の事業報告及び決算について、令和 3 年度の事業計画推進状況及び予算について、更に令和 4 年度事業計画についてご審議いただき、特に、今後の自主制作教材について様々なご意見をいただきました。

令和 3 年度の自主制作教材としては、山陽新幹線多々良山隧道と佐波川橋梁付近の工事の様子を紹介する DVD「山陽新幹線・工事の記録」を制作しました。

#### （2）視聴覚機材や教材の貸出管理（資料 18 頁～19 頁参照）

視聴覚教材の貸出は新型コロナウイルス感染症の拡大の影響もあり、10 件、延べ日数 78 日となり、昨年度より 89%の減少となりました。

しかし、ウィズコロナ、アフターコロナを見据え、今後も市民の皆様の学習活動を支援できるような視聴覚機材や機器を揃えるとともに、引き続き市内小中学校や貸出対象となる団体へ向けた PR を行ってまいります。

#### （3）防府市青少年科学館の多目的ホールでのビデオ上映（資料 20 頁参照）

科学館の多目的ホールでは、スポット展などに沿う教材や、科学により一層興味をもっていただけるような教材を選定し、上映しました。

#### （4）市内小学校あて巡回ビデオの配送（資料 20 頁参照）

防府市小学校教育研究会視聴覚教育研修部の先生方が選定された教材（DVD）が市内小学校を巡回する「巡回ビデオ」の実施に伴い、小学校 17 校に教材 33 点を配送し、小学校の視聴覚教育を支援しました。

巡回期間は、令和 3 年 9 月 1 日から令和 4 年 1 月 21 日までの間でした。

#### （5）講習会の開催

例年、ビデオ撮影編集講習会、タブレット活用講習会を開催しておりましたが、

本年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

#### **(6) ホームページの充実**

自主制作の「地域教材ビデオ」や教材目録などについて、防府市視聴覚ライブラリーのホームページから自由に閲覧できるよう、引き続き管理しました。

### **4 教育及び文化の情報拠点として生涯学習の支援を図る図書館運営事業**

教育及び文化の情報拠点として、図書館資料・情報提供サービスの向上・強化を図るとともに、その資料・情報を活用できる生涯学習活動の場として、集会・文化活動の推進に努めました。

また、「第2次防府市図書館サービス振興基本計画」や「第3次防府市子ども読書活動推進計画」に基づき、図書館利用促進や読書活動推進のための施策に取り組みました。

※具体的な数値統計については、別紙報告を参照。

#### **(1) 誰もが等しく学べる、豊かな資料と機能を持つ図書館**

##### **① 市民の日常生活、学習活動に寄与する、質・量ともに充実した資料を持つ図書館 ア 資料収集業務**

図書館資料の適正な選書・収集を「防府市立防府図書館資料収集要綱」に基づいて行い、質・量両面の充実に努めました。

地域資料、特に防府市関係資料については、市関係者関連資料・市の行政関連資料及び歴史・地誌・民俗資料等の収集を行い、防府図書館独自の特徴的なコレクションの形成に努めました。

##### **イ 資料分類・目録整備業務**

資料の受入れに際しては、受贈資料も含めて体系的に管理するため、迅速・正確な資料組織化・装備を行いました。資料の分類は日本十進分類法新訂10版に基づき適切な書架分類と配列を行い、資料受入れと同時に、日本目録規則に基づく事務用コンピュータ目録を作成し、利用者に分かりやすいOPAC（オンライン閲覧目録）検索画面等を提供しました。

##### **ウ 書架管理・蔵書点検業務**

月例整理日だけでなく、常に書架の整理整頓に努め、返却資料も迅速に処理しました。延滞資料については電話・葉書・Eメール等により定期的に返却を督促し、延滞資料に予約が入った場合は随時督促を行いました。

また、臨時休館中（5月13日（木）～5月31日（月）、8月28日（土）～9月26日（日））には、閉架書庫の和書を整理しました。

さらに、12月10日（金）～12月12日（日）、3月1日（火）～3月3日（木）には、定例の全開架資料の蔵書点検を行いました。

## エ 資料提供業務

窓口カウンターでの、資料の貸出及び返却業務、利用登録業務、予約・リクエスト受付業務等を、常に正確・迅速に行うよう努めました。

また、個人情報保護の観点から、自動貸出機利用奨励のための案内を行いました。なお、12月18日（土）より、自動貸出機にサーマルプリンターを接続し、利用者がレシートを発行できるようにしました。

さらに、臨時休館中（5月13日（木）～5月31日（月）、8月28日（土）～9月26日（日））には、本館入口のエントランスホールで、予約資料の貸出業務と予約・リクエストの受付業務を行いました。

## ② 老若男女を問わず、様々な立場の人が、誰でも気軽に楽しく利用できる図書館

### ア コンピュータシステム管理業務

コンピュータシステムの円滑な運用により、サービスの強化に努めました。Web上での資料検索・予約・貸出期間延長、利用者が自らの読書履歴を管理する読書手帳、利用者がWeb上で読みたい本や既に読んだ本を管理するMy本棚、読書目標や読書量を個人管理する読書マラソン等の機能の活用促進に努めました。

また、12月13日（月）～12月17日（金）にはコンピュータシステムを更新し、入場ゲート一式（入館者カウントプログラム含む）も更新しました。

なお、システム機器構成は、利用者用資料検索端末機を1台減らして9台とし、その内2台をタブレット端末にして、こども図書コーナーと一般書コーナー東側に配置しました。利用者開放インターネット端末機も3台減らして7台とし、その内3台をタブレット端末としました。持込パソコンコーナーからブラウジングコーナーまでのエリアで、フリースポットWi-Fiが使えるようにしました。視覚障害者等へのサービスとして、デイジー図書再生機を新規に導入し、障害者サービス室と録音室のパソコンと利用者開放インターネットタブレット端末機にはデイジー図書の再生ソフトをインストールしました。

### イ 情報発信（広報）業務

ホームページを適切に管理運営するため、随時情報を更新し、内容の整備と情報提供サービスの充実に努めました。

また、「ほうふ図書館だより」「ほうふとしょかんこどもしんぶん」「新刊紹介」（以上、月刊）、「行政関係図書紹介」（季刊）等の広報紙を発行し、行事関係チラシ等をその都度作成するとともに、市広報「ほうふ」（月2回刊）、防府市文化振興財団機関紙「イベントアイ」（隔月刊）、防府市メールサービス（随時）、防府市文化振興財団「メールマガジン」（毎月）、及び地域情報誌「ほっふ」（毎月）に図書館関係記事を掲載しました。

さらに、地域コミュニティーFMラジオ「FMわっしょい」の『防府市からのお知らせ 情報モリモリ』に、図書館職員が毎月第2・4木曜日に定期出演するとともに、山口ケーブルビジョンのニュース番組「まちかどNEWS」（5月7日（金））に出演しました。

#### ウ 図書館年報作成業務

「令和2年度図書館年報」及び「数字で見る防府図書館（令和2年度の統計より）」を5月31日（月）付で発行し、ホームページにも掲載しました。

#### エ サービス環境整備

図書館施設・設備・備品の点検と修繕を適切に実施し、恒常的で計画的な清掃業務を行うことにより、安全で快適に利用できる環境整備に努めました。

また、12月18日（土）より、図書館まつり実行委員会から寄贈されたインフォメーションディスプレイを入口に設置し、館内の利用案内やイベントの案内を表示するようにしました。

#### オ 安全対策・危機管理業務

施設管理会社・警備会社・警察等との連携を密にしながら、常に的確な状況把握と防犯管理に努め、施設管理会社とは毎月1回定期協議を行いました。安全管理上問題がある行為や迷惑行為に対しては、毅然たる態度で対応しました。AEDや防犯カメラの点検を毎日開館前に行い、施設の危機管理マニュアルに基づき、常に事故や犯罪等の発生に迅速・的確な対応が取れるよう備えました。10月28日（木）、3月24日（木）にはルルサス防府全体の避難訓練に参加し、12月17日（金）、3月3日（木）には図書館単独の避難訓練を行いました。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、5月13日（木）～5月31日（月）、及び8月28日（土）～9月26日（日）の間、臨時休館としました。

なお、館内においては受付カウンターにはビニールシート壁を設けるとともに、閲覧用の座席数は半減して密接を避け、館内放送によって注意を喚起するなどの対応策をとりました。入口には体表検知カメラと足踏み式消毒スタンドを設置し、利用者が入館前に体温を測り、消毒することができるようにしました。利用者には手指の消毒とマスクの着用をお願いし、DVD・CDの視聴、インターネットコーナーの使用、持込PCコーナーの使用については時間（回数）制限を設け、自習目的の研修室の使用、お話のへや・準備室の使用を中止しました。

#### カ 利用マナー啓発業務

「マナーアップキャンペーン」（会期7月7日（水）～8月27日（金））を実施し、小学生までを対象とした「グッドマナーチャレンジ」では、グッドマナーチャレンジカードを554枚配布し、目標達成者は68人でした。

③ 図書館から遠い所に住んでいる人にも、サービスできる図書館

ア 移動図書館車「わっしょい文庫」運行業務

市内全域サービスの充実を図るため、移動図書館車に常時約3500冊の図書を積載し、6コース36ステーションを2週間に1回の周期で巡回しました。

また、来年度から、新ステーションとなる大道中学校（新設）と麒麟レモンスタジアム武道館横（マックスバリュー新田店の代わり）への運行開始をするための準備として、他のコースも含めて運行曜日や時間帯の見直しをしました。

さらに、4月24日（土）・25日（日）に防府駅てんじんぐち多目的広場で開催された「防府市緑花祭」、8月1日（日）にイオンタウン防府で開催された「みんな集まれ！はたらく車展」において、移動図書館車の臨時出張サービスを行いました。

④ 調査・研究・読書相談などに、的確に対応できる図書館

ア レファレンス（調査研究相談・読書相談）業務

資料相談カウンターにおいて司書有資格者が、利用者への調査研究活動支援、資料利用案内、読書案内等のレファレンスサービスを行いました。児童カウンターにおいても、資料利用案内・読書案内等の業務を行って、子どもの学習活動・読書活動を支援しました。

また、参加登録している、国立国会図書館の「図書館向けデジタル化資料送信サービス」閲覧業務の利用促進や「レファレンス協同データベース」の活用を図るとともに、他の図書館や市内外の関係機関等に照会したり、利用者をそれらの機関へ案内・紹介したりする、レフェラルサービスを行いました。

さらに、レファレンス事例集や新着図書案内・テーマ別ブックリスト・パスファインダー（テーマ別資料利用案内）等の充実に努めるとともに、レファレンス研修への参加や、利用者とのコミュニケーションを図るフロアワークの強化に努めました。

イ 図書館資料の複写サービス業務

利用者の求めに応じ、著作権法や防府市手数料条例に基づいた図書館資料の複写サービスを適正に実施しました。

**（2）地域の人々と手を携えて、豊かな交流の場を創る図書館**

① 様々な図書館事業を利用者と協働して行い、学習交流の場、コミュニティセンターとしての機能を持つ図書館

ア ボランティア団体・生涯学習グループ等との協働推進業務

7月15日（木）に開催された「防府図書館利用者・サークル連絡総会」において、図書館職員によるNHKドラマ「青天を衝け」に関する図書のブックトー

クを、また12月2日(木)に開催された活動報告会においては、「古墳」に関する図書のブックトークを、さらに2月2日(水)に開催された同会の「図書館講座」においては、「哲学」に関する図書のブックトークを行いました。

また、「第10回防府市子ども読書フェスティバル」を6月5日(土)に開催する予定でしたが、新型コロナ感染拡大のために延期し、7月17日(土)に、実行委員会、ボランティア団体等と協働で開催しました。「子ども読書のまち・防府」第10号を10月1日(金)付で実行委員会から発行しました。

さらに、「第31回防府図書館まつり」を10月16日(土)に開催する予定でしたが、新型コロナ感染拡大のために延期し、3月12日(土)に、実行委員会、ボランティア団体等と協働で開催しました。

- ② 学習ボランティアや、障害のある利用者のためのボランティアが、いきいきと楽しく活動できる図書館

ア ボランティア活動推進業務

「防府図書館ボランティア連絡会議」を1月20日(木)に開催し、図書館サービスの向上を図るため、現状と課題についての意見交換をしました。

また、図書館ボランティアの新規育成を図るための講座「図書館ボランティア養成講座」は、2月に4回シリーズで予定していましたが、新型コロナウイルス感染予防のため、講師の在住地を考慮し、3日(木)と10日(木)はリモートで、17日(木)は対面で開催しましたが、24日(木)はリモートでの開催が困難であったため中止しました。

**(3) 生涯学習活動の拠点として、集会文化活動に力を入れ、地域の力を高める図書館**

- ① 様々な図書館行事を積極的に行い、地域の文化発展に貢献する図書館

ア イベント・懇談会業務

- ・ トークイベント・ワークショップ

「第10回子ども読書フェスティバル」7月17日(土)において、詩人・絵本作家の林木林氏によるオンラインでのトークイベントや、誠英高校美術部の応援を得てのワークショップ「ブックカバーを作ろう」を開催しました。

- ・ 月いちキネマ

毎月1回、主に高齢者を対象とした懐かしの映画上映会を開催し、図書館職員による上映した映画に関する図書のブックトークを行いました。また、新型コロナ感染拡大防止のため、5月と9月は中止しました。なお、8月1日(日)は、夏休みに合わせて子ども向けの映画を上映し、12月3日(金)には、障害者週間にあわせて「バリアフリー上映会」として開催しました。

- ・ 大人のくらし塾

今年度からの新企画として、主に高齢者を対象とした実用講座を開催しました。第1回目の前期は、「タブレット体験会～まずは触ってみよう!～」と題し、株式会社三友の職員3名（内田靖子氏、玉尾有紗氏、安井絢音氏）を講師に招いて、9月29日（水）と10月7日（木）に開催しました。大好評であったため、後期も同じ内容で2月16日（水）と3月10日（水）に開催しました。

- ・ ビブリオバトル

小学生から大人まで参加できる本の紹介コミュニケーションゲーム「ビブリオバトル（知的書評合戦）」の令和3年度第1回目（11月13日（土））を、市内の中学生5名をバトラーに迎えて、ブラウジングコーナーで開催しました。初めての中学生大会ということで、観覧者からも新鮮で楽しかったと好評でした。3月21日（月）に開催した第2回目は、参加自由としたところ、小学生バトラーも登場して大いに盛り上がりました。

- ・ 利用者懇談会

11月28日（日）、図書館サービスの向上を図るために、利用者の意見や提言を聞く「防府図書館利用者懇談会」を開催し、参加者から建設的な意見を多数いただきました。

- ・ クリスマスおはなし会

12月19日（日）、職員がサンタクロースに扮装して登場する「クリスマスおはなし会」を開催し、好評を得ました。

#### イ 資料展示・展覧会業務

展示コーナー・中央カウンター前・児童カウンター横での月例資料展示、及び新刊コーナー横・ヤング図書コーナー前でのミニ資料展示を、時宜に即したテーマを選定し定期的に行いました。

展示室では、常設展示「上山満之進と三哲文庫」を行いました。

また、ブラウジングコーナーにおいては、図書館利用サークル「防府友の会」の皆さんによる活動紹介のパネル展示（4月17日（土）～5月12日（水））、図書館利用サークル「結う」の皆さんによる「たのしい エプロンシアター」の展示（11月17日（水）～12月6日（月））、牟礼郷土誌同好会の皆さんによる「重源上人生誕900年 牟礼小6年生ポスター展」の展示（2月21日（月）～3月14日（月））、防府市情報政策課による「令和3年度統計コンクール入賞作品」の展示（3月16日（水）～3月25日（金））、「えじたま」の皆さんによる「世界自閉症啓発デー 発達しょうがい啓発週間 こころのバリアフリー できることからはじめよう」の展示（3月27日（日）～4月18日（月））を行いました。

② 生涯学習グループ活動を奨励し、その育成を図る図書館

ア 生涯学習グループ活動奨励・施設利用等許可業務

生涯学習グループの活動拠点として図書館の活用を推進するため、研修室他、集会スペースの利用許可等の業務を適正に行い、機会・場・設備・資料等を各団体に提供しました。

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、研修室・録音室・障害者サービス室は人数制限を設け、お話のへや・準備室の使用は中止しました。

**(4) 地域の歴史や文化を大切にするとともに、国際理解を深めていく図書館**

① 地域（郷土）資料を、積極的に収集・整理・保存・提供する図書館

ア 地域（郷土）資料収集業務

地域資料、特に防府市関係資料については、市関係者関連資料・市の行政関連資料及び歴史・地誌・民俗資料等の収集を行い、防府図書館独自の特徴的なコレクションの形成に努めました。

② 地域（郷土）の歴史や文化に係る事業を積極的に行う図書館

ア 上山満之進と三哲文庫顕彰業務

展示室内の常設展示「上山満之進と三哲文庫」について、随時、展示替えを行い、ブラウジングコーナー壁面においては、「上山満之進の生涯」と題したパネル展示（10月1日（金）～11月1日（月））を行いました。

また、防府図書館の開館80周年を記念して、「防府図書館80年の歩み」を4月1日付で発行しました。

さらに、4月25日（日）、防府市教育委員会主催で開催された「防府図書館開館80周年記念事業」の一環として、正面ロビーのガラス面に三哲文庫新名称標の掲揚を行いました。

イ 防府史料刊行業務

「防府史料」第71集『周南先生文集 初編 自三至四』（山県周南著）を3月18日付けで発行しました。

③ 姉妹都市などの図書館との交流事業を推進し、国際理解を深めるための資料を積極的に収集・整理・保存・提供する図書館

ア 春川市立図書館との資料交換業務

大韓民国春川市立図書館との資料交換協定に基づき100冊程度の資料を相互に寄贈し、受贈した資料を広く市民の利用に供しました。

**(5) 様々な教育文化施設とのネットワークを進め、サービスする図書館**

① 学校や公民館との連携を深め、支援事業・協力事業を推進する図書館

ア 学校図書館支援業務

防府市教育委員会や市立小中学校との連携を密にして、学校図書館とのオンライン・ネットワーク・システムを活用した学校支援図書貸出業務や、貸出文庫業務を行うとともに、学校司書の研修の機会や場の提供に努めました。

また、小学校で開催される選書会（6月4校、7月2校、9月2校、10月2校、11月1校）のためのリスト作成や図書の貸出しなど、学校司書との連携に努めました。

さらに、7月26日（月）に開催された防府市中教研図書館研究部会議に職員を派遣し、各種サービスやビブリオバトルについて情報交換をしました。

#### イ 地域文庫・団体貸出業務

市内15ヶ所の公民館に配本所を設置し、200冊の図書を3か月に1回交換する地域文庫業務を行いました。

また、毎月、公民館・出張所会議に出席し、地域文庫に係る諸連絡・利用案内等を行いました。

さらに、市内の施設・団体等の読書活動を支援する団体貸出業務として、貸出文庫業務を行いました。なお、新型コロナ感染拡大防止のため、小学校留守家庭学級を対象に、貸出のための選書を職員が代行する選書サービスを行いました。

### ② 他の図書館や博物館・美術館との相互協力を推進する図書館

#### ア 他の図書館や文書館・博物館・美術館との連携業務

他の図書館との資料相互貸借・レファレンス協力・研修活動等を積極的に行うとともに、博物館や文書館等との連携にも努めました。

また、山頭火ふるさと館の第四回自由律俳句大会（応募期間5月1日（土）～12月1日（水））のための投句箱を図書館に設置し、8月18日（水）と1月19日（水）に開催された「山頭火を学ぶ会」に、講師として職員を派遣しました。

#### イ 防府市文化振興財団内連携事業

##### ・ 文化事業との連携

アスピラートの「ふわふわシナモロール展」（会期：4月2日（金）～5月16日（日））との連携企画として、関連ミニ資料展示「集まれサンリオの仲間たち☆」（4月7日（水）～4月19日（月））を行いました。

##### ・ 科学事業との連携

ソラールのスポット展「あつまれ！本の虫」（会期：6月2日（水）～8月29日（日））との連携企画として、ブラウジングコーナーにおいて、関連資料展示「あつまれ！本の虫」（6月2日（水）～7月25日（日））を行いました。

また、7月17日（土）に開催された「第10回防府市子ども読書フェスティバル」において、ソラール学芸員による「あつまれ！本の虫」ギャラリートーク

を行い（参加者16人）、7月22日（木）には、図書館研修室で「あつまれ！本の虫」の関連講座「むしむしイマジジン！～想像してみよう虫のこと～」を開催（参加者31人）しました。

また、「紅葉どんぐり便」の受付窓口を、図書館と移動図書館車に11月1日（月）から23日（火）まで設置し、チラシを作成・配付しました。全部で2,000枚の紅葉、13種類47キロのどんぐりが集まり、12月1日（水）、ソラールから沖縄の小学校に向けてメッセージとともに発送されました。

## （6）子どもたちの読書活動を進めていく図書館

### ① 子ども読書活動推進を図るための研究と事業を、積極的に行う図書館

#### ア 子ども読書活動推進業務

##### ・ 子ども図書館員

夏休みの7月26日（月）と8月2日（月）に、小学校4～6年生を対象とした「子ども図書館員」を開催しました。2日間で17人が参加しましたが、貸出や返却などのカウンター業務のほか、閉架書庫内の見学や絵本の読み聞かせなどを体験し、好評を得ました。

##### ・ 防府市図書館を使った調べる学習コンクール

市内の小中学生を対象として防府市教育委員会と共催する、「第9回防府市図書館を使った調べる学習コンクール」（募集期間8月1日（日）～9月30日（木））を、防府市教育委員会と共催しました。応募店集は、小学生21点、中学生6点でした。11月4日（木）の審査の結果は、小学生は金賞1点・銀賞2点・銅賞1点、中学生は銀賞1点・銅賞1点で、小学生の金賞1点は全国コンクールに出展され、奨励賞を受賞しました。

また、7月31日（土）には、コンクール出品予定者4人を対象に、「チャレンジ！調べる学習～テーマを決めて本を探してみよう～」と題して、テーマの決め方、調べ方、まとめ方等について助言する講座を開催しました。

さらに、8月1日（日）～9月30日（木）の間、ブラウジングコーナーにおいて、ポスターやチラシのほか、全国の入賞作品のレプリカを展示しました。

##### ・ 読書感想文教室

7月24日（土）と7月25日（日）の2日間、小学校3～6年生を対象に「読書感想文教室」を開催しました。今年度が初めての開催でしたが、それぞれ8人が参加し、ワークシートを使っての下書きは好評でした。

##### ・ さんさんおはなし会

毎月第3日曜日の家庭の日に、図書館職員によるおはなし会を開催しましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、5月と9月と2月は中止しました。

- ・ 職場体験・図書館見学等の奨励  
職場体験等のインターンシップ、図書館見学等について積極的に受入れをし、子どもたちの図書館への理解促進と利用拡大に努めました。
- ・ 出前講座・出張イベント等の開催  
6月7日（月）に、「えんしん幼稚園」に職員が出向き、絵本の読み聞かせを実施しました。

② 子ども読書活動推進のためのボランティア活動を奨励し、その育成を図る図書館

ア ボランティアとの連携・協働業務

6月24日（木）、10月21日（木）、12月13日（月）に開催された「かすが文庫」のおはなし会、6月24日（木）に開催された「学校図書ボランティアネット防府」の研修会、7月14日（水）、10月27日（水）に開催された「おはなしでんしゃ」のおはなし会において、図書館職員によるブックトークを行いました。

**（7）障害者や高齢者に優しい図書館**

① 障害者や高齢者が、気軽に楽しく利用できる図書館

ア 障害者・高齢者への資料・情報提供サービス業務

行政やボランティア団体等と連携・協力し、点字・音声資料・大活字本等の整備に努めるとともに、郵送貸出・視覚障害者用音声付インターネット設備等のサービスを行いました。

また、12月18日（土）より、デジタイズ図書やCDを再生できる録音図書再生機を参考カウンターに常備し、視覚障害者等への館内貸出サービスを開始しました。

② 視覚障害者や高齢者のための対面朗読、音訳図書製作、郵送貸出などのサービスを積極的に行う図書館

ア 対面朗読、音訳図書製作、郵送貸出等の業務

ボランティアと連携し、対面朗読サービス・音訳図書製作等の推進に努めるとともに、障害者への郵送貸出サービスについて、周知と利用促進に努めました。

また、国立国会図書館が制作・収集した視覚障害者等用データ（デジタイズデータ等）を、インターネット経由で送信する「視覚障害者等用データ送信サービス」承認館として、9月21日付で登録されました。

③ 障害のある利用者のためのボランティア活動を奨励し、その育成を図る図書館

ア 障害のある利用者のためのボランティア活動支援業務

障害のある利用者のためのボランティア活動を支援し、ボランティアによる施設・設備・資料等の活用促進に努めました。

## 5 収益事業

チケットの受託販売や、科学館のショップ運営等により、公益目的事業の財源となる収入の確保を図りました（有料駐車場は営業休止）。これらの運営に当たっては、施設利用者への更なるサービス向上につながるよう努めました。

### （1）文化施設の管理運営

コロナ禍の中、ホールでの式典、研修会や講演会、その他の施設での展示即売会や会議、研修会など、各施設の公益目的以外の利用についても感染防止対策を取りながら積極的に貸与し、施設の有効利用を図るとともに、地域振興の拠点となるよう努めました。利用者アンケートや市民からの提言などに基づいて、可能な限り各種改善を行い、利用者の立場に立ったサービスが提供できるよう取り組みました。

また、他施設で開催されるイベントのチケットを含めたチケットの受託販売も積極的に行い、お客様の利便性を高めるとともに、収入の確保にも努めました。

### （2）有料駐車場の管理運営

営業休止中（イベント時に無料開放）

### （3）ミュージアムショップの運営

ミュージアムショップでは、科学を身近に感じる商品や企画展の関連書籍を中心に販売し、科学館の魅力向上や利用者の利便性を図るとともに、財源の確保につなげました。

今後は、科学館での体験をより豊かにするようなショップの運営に努めてまいります。

## Ⅲ 理事会、評議員会

### 1 理事会

#### (1) 第1回理事会

開催年月日 令和3年5月10日(月)  
開催場所 防府市公会堂 3階4号室  
決議事項 ①令和2年度事業報告及び決算について  
②令和3年度第1回評議員会の招集について

#### (2) 第2回理事会

決議があったとみなされた日 令和3年6月9日(水)  
開催方法 決議の省略の方法(定款第37条第1項に基づく書面決議)  
決議事項 ③会長、副会長及び常務理事の選定について(みなし決議)

#### (3) 第3回理事会

開催年月日 令和4年2月18日(金)  
開催場所 防府市公会堂 3階4号室  
決議事項 ④令和4年度事業計画書及び収支予算書等について  
⑤規程等の制定及び改正について  
⑥令和3年度第2回評議員会の招集について  
⑦防府市地域交流センター館長の選任について

### 2 評議員会

#### (1) 第1回評議員会

決議があったとみなされた日 令和3年5月26日(水)  
開催方法 決議の省略の方法(定款第22条第1項に基づく書面決議)  
決議事項 ①令和2年度事業報告及び決算について  
②理事・監事の選任について(任期満了による)

#### (2) 第2回評議員会

開催年月日 令和4年3月4日(金)  
開催場所 防府市公会堂 3階4号室  
決議事項 ③令和4年度事業計画書及び収支予算書等について

### **事業報告の附属明細書**

令和3年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和4年5月

公益財団法人 防府市文化振興財団